

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 プレゼン・未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④DXを地域で実践する推進 ③学校の推進 ②豊かな心、自己実現を支える協働による郷土教育の推進 ①豊かな心、健康な体力、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	より良いものを求めて考え、自分から動く力（課題発見・解決能力）	志 考 動	学びづくり	① 主体的に学び、変容を自覚できる授業づくり	1)議論の場を位置づけた授業、教師がファシリテーターとしての役割を果たす授業を推進する。(全職員が公開授業実施、普段から互いの授業を見合う教師集団)	A	・2回の全校研究授業を要とし、本校が目指す授業像を全教員で共有した。また、自主公開授業を見合う場も複数回設けることができ、教科の枠を超えて、指導の共通点を学び合うこともできた。来年度は、ファシリテートする際の教師のねらいや出場等に視点を置いて、生徒自身が「自分、仲間とできた」と思える授業を創造する。 ・第3学年では、複数回校外に出掛け、探究課題の解決に向けて活動した。また全学年において、プレゼンを用いた総合発表会を行った。来年度は、年度末に限らず、企業に商品開発に関する提案をする等、必要に応じて、手段として活用していくことが大切だと考える。
						2)生徒が自ら追究方法を選択できる場面と、個の学びを振り返る場面を授業の中に位置づける。	B	
					③ 探究的な総合的な学習 ④ 「Forever Kiyomi」	1)個人テーマについて考えるだけでなく、行動して検証する探究学習を行う。	A	
						2)プレゼンのスキルアップを図り、探究し考えたことを保護者や地域に発信する。(プレゼン研修、総合発表会、地域への掲示等)	A	
				生き方づくり	② なりたい自分へ「努力と挑戦の積み重ね」	1)なりたい自分の振り返りに、他者評価や保護者による評価を取り入れ、個の努力と達成度を認め合う。	B	・自己理解を深めるために、自分を知る時間を増やしていきたい。 ・問う指導を行うことでよりよいものを求める、子どもたちがやりたい、やってみたいという気持ちをもたせることができた。 ・縦割り編成は、幼少期からの序列を崩せたり、異年齢との生活で新しい自分に出会えたりするきっかけとなった。先輩への憧れや後輩に手本を示すなど刺激を受ける縦割り編成ができた。
						2)次の挑戦「志」につなぐための自己理解力を高める指導支援を充実させる。	A	
					② 自分たちの生活は自分たちで創る自治活動	1)自分で考え自分から行動できる姿を目指し、全職員が、「どうしたいの?」と問う指導、行動の値打ちやそこに至る思い等を語る指導を行う。	B	
						2)「縦割りチーム制」を生かし、協働や競い合いを通して、生徒の活躍の場を拡大する。	A	
				絆づくり	① ③ 一人一人の人権(自分らしく生きる)を大切にする安心・安全な学校生活	1)「全員担任制」を生かしたどの子にもみんなに関わる体制作りを構築する。	A	・全職員で生徒一人一人を多面的、多角的にとらえ、作戦会議等で共有し指導にあたることができた。来年度は、各章のテーマを確認、共有し、指導の重点化を図っていきたい。 ・生徒会執行部が中心となって行っている「よいこと紹介」が起因して、仲間のよさや改善点を伝え合える仲間関係が醸成され、人権意識の高まりにつながった。 ・「清見文化祭」や「寿りんごプロジェクト」に全校生徒が参加し、中学生が中心となって会を企画・運営したり、地域の伝統文化を継承したりすることができた。 ・子どもの目標を知ることができ、学校との共通の話題になって安心感を得ることができたという保護者の評価をいただいた。また、保護者への連絡も「なりたい自分」を通して連絡をとりやすくなった。
						2)生徒一人一人を大切にするために、毎週の作戦会議や日頃の対話を通して、情報共有を確実に行う。	A	
						3)人権タウンミーティングを核として、日常から人権意識を高めるための活動を生徒会主導で行う。	A	
					③ 家庭との連携	1)生徒のよさや頑張り、「なりたい自分」を共有し、保護者との信頼関係を構築する。(電話連絡、懇談等)	A	
					③ 地域との連携	1)開かれた学校の推進(授業参観、学校行事、PTA親子研修会等の地域公開、清見地区全戸配布の学校だよりによる発信等)	A	
						2)地域活動や行事への積極的な参加(清見文化祭、人権タウンミーティング、寿りんごプロジェクト等)	A	

学校運営協議会における主な評価内容

- ・保、小、中12年間を通して中学校の学校教育目標「志 考 動」の実現を目指すことを共有し、取り組んでいるところがよい。
- ・学校運営協議会のメンバーの意見を踏まえて「学校で育みたい資質・能力」を決め出したことは、地域全体で子どもを育てることにつながる。